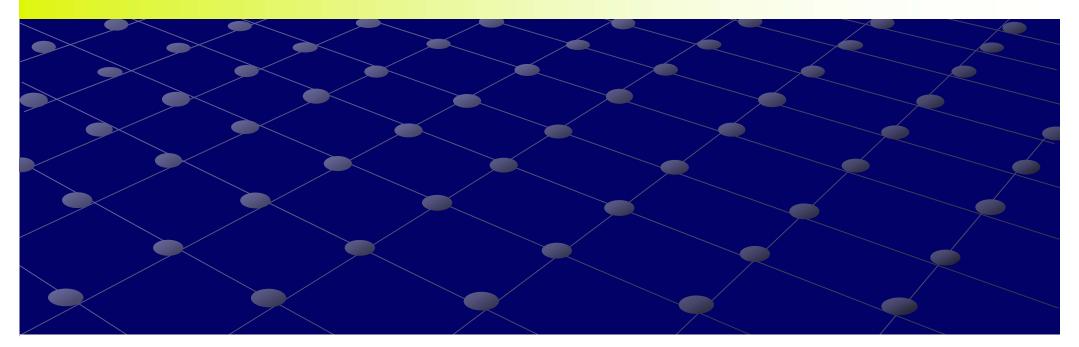


2008年3月期 連結決算概況(中間)





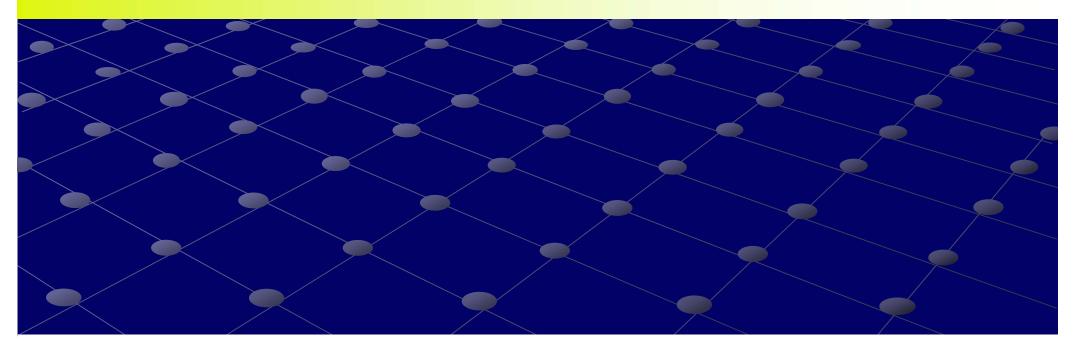
2008年3月期 連結決算業績(中間)

税制改正に伴い減価償却費増:8.4億円

					単位:百万円	
	前期	当期 (前回予想)	当期 (実績)	前期比 (増減比)	予想比 (増減比)	
売 上 高	215,388	233,000	244,289	28,900 +13.4%	11,289 +4.8%	
営業利益	18,054 8.4%	18,500 7.9%	19,910 * 8.2%	1,856 +10.3%	1,410 +7.6%	
経常利益	18,805 8.7%	18,000 7.7%	20,278 8.3%	1,473 +7.8%	2,279 +12.7%	
当期純利益	9,546 4.4%	9,600 4.1%	11,167 4.6%	1,620 +17.0%	1,567 +16.3%	

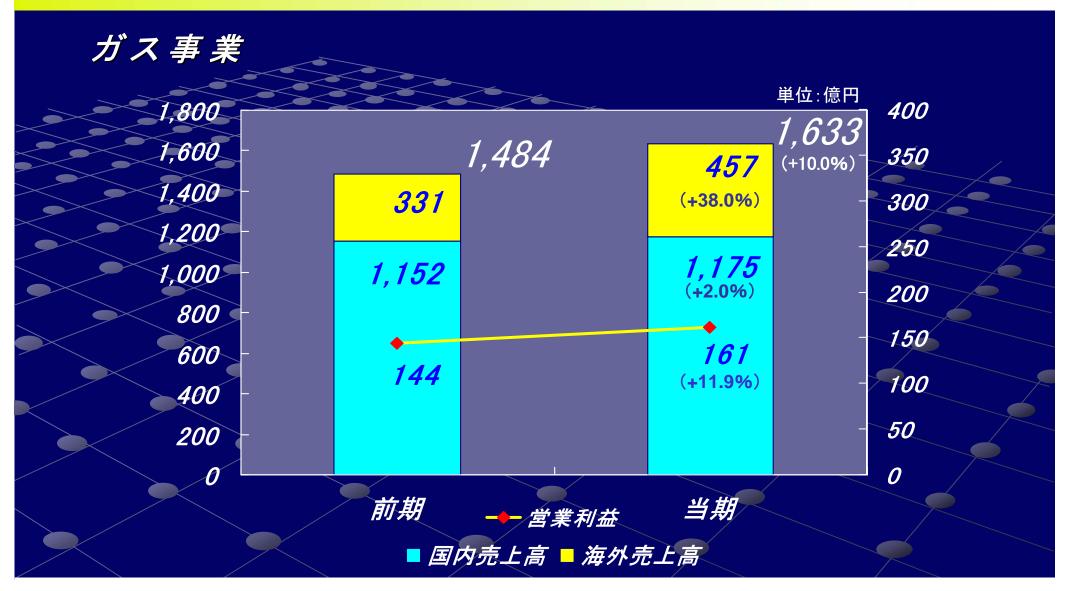


2008年3月期 連結セグメント(中間)





2008年3月期 連結セグメント(中間)





2008年3月期 ガス事業の主な業績推移(中間)

酸素・窒素・アルゴン



759億円(前年同期比十 8.3%)

国内 鉄鋼、化学、エレクトロニクス、造船など 基幹産業の高い稼動により堅調

海外) 昨年のM&Aを含む米国事業の拡大や アジア地域の需要増により堅調

電子材料ガス



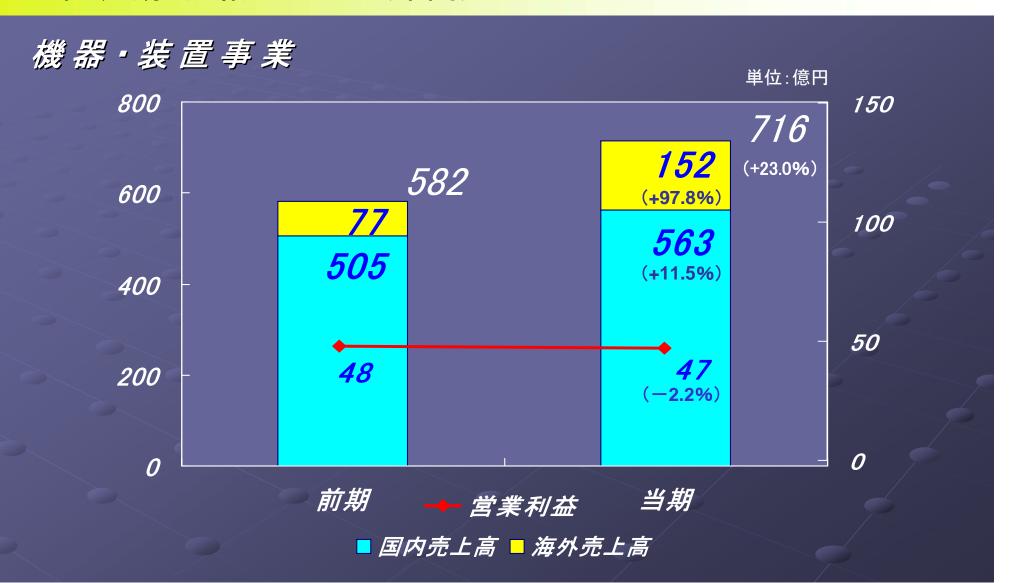
332億円(前年同期比+10.6%)

国内 エレクトロニクス関連企業の増設に 伴なう稼働率好調

海外 対 韓国、台湾、中国、シンガポールも好調



2008年3月期 連結セグメント(中間)





2008年3月期 機器・装置事業の主な業績推移(中間)

電子関連機器・工事

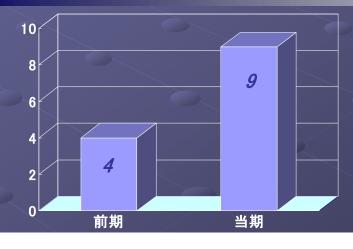


182億円(前年同期比+24.8%)

国内 半導体や液晶メーカーなどの活発な 投資により高い水準で推移

海外 津国、台湾向けを中心に堅調

MOCVD装置



9億円(前年同期比十118.3%)

国内 LED市場の規模拡大を控え需要が増加

大型量産装置の引き合いも増加



2008年3月期 機器・装置事業の主な業績推移(中間)

切断・溶接関連機器



242億円(前年同期比+47.2%)

国内 造船、建設機械、産業機械の投資は 引き続き活発 ⇒中・大型切断機好調

海外) 昨年買収したLinweldの業績が大きく寄与

機械装置

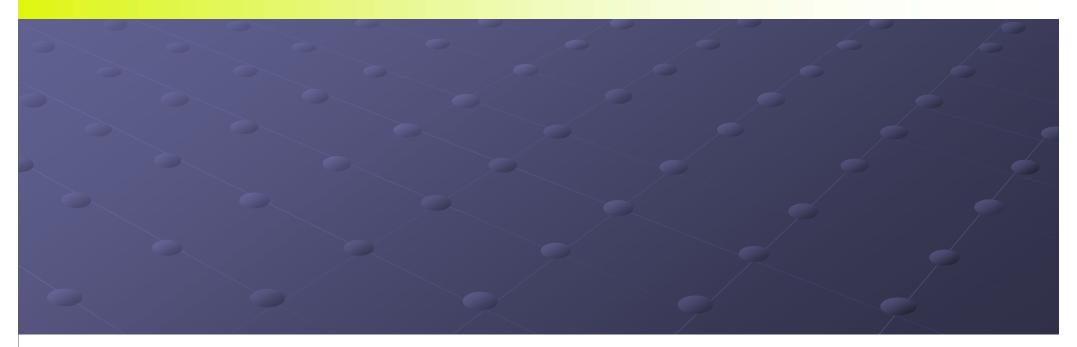


78億円(前年同期比十 5. 1%)

海外 台湾、シンガポールで化学・エレクトロ ニクス企業向けに実績を拡大



2008年3月期 上半期トピックス





2008年3月期 上半期トピックス

国 内 事 業

- 4月 ●大分SCに国内最大級の大型空気分離装置が 完成(オンサイト・プラント事業)
 - ●新日鉄と合弁会社「八幡共同液酸」を設立(ガス事業)
- 5月 ●エヌエスエンシェアリングを完全子会社化(電子機材事業)
- 6月 ●刈谷酸素を子会社化(ガス事業)
- 7月 ●「JHFC船橋水素ステーション」の共同運用を開始 (水素プロジェクト事業)
- 8月 ●シャハ・ン・ヘリウム・センター九州工場竣工 (ガス事業並びに電子機材事業)

大分SC新プラント(6号機)

- 9月 ●四国3県の事業を徳島酸素工業へ譲渡(ガス事業)
 - ●オゾン層保護・地球温暖化防止大賞 経済産業大臣賞を受賞(技術開発)
 - ●世界最大出力(365KW)液体窒素冷却タイプ超伝導 モーターを共同開発(技術開発)



2008年3月期 上半期トピックス

海外事業

- 5月 ●韓国SKCと合弁で、韓国内で産業ガス事業を 開始(オンサイト・プラント事業)
- 7月 ●NOX(National Oxygen)にて 新プラント(3号機)が竣工(ガス事業)
 - ●NOXがシンガポール国防大臣賞を受賞
- 9月 ●中国大連長興島における産業ガス供給 事業に関する合意書を締結(ガス事業)

NOX新プラント(3号機)



2008年3月期 上半期トピックス クローズアップ 中国大連長興島における産業ガス供給事業に関する合意書を締結



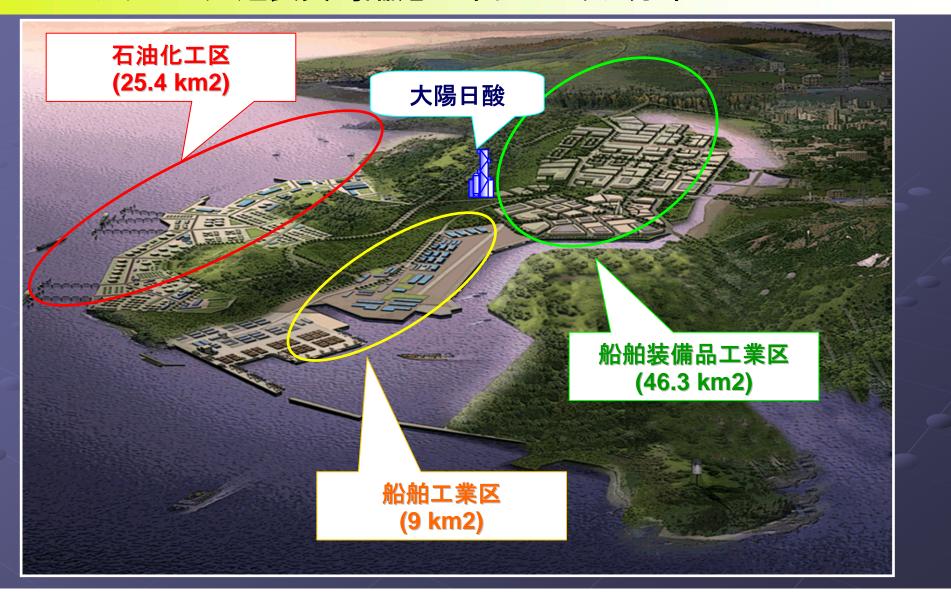


クローズアップノ大連長興島と五点一線計画





クロースアップ/大連長興島臨港工業区 エリア分布



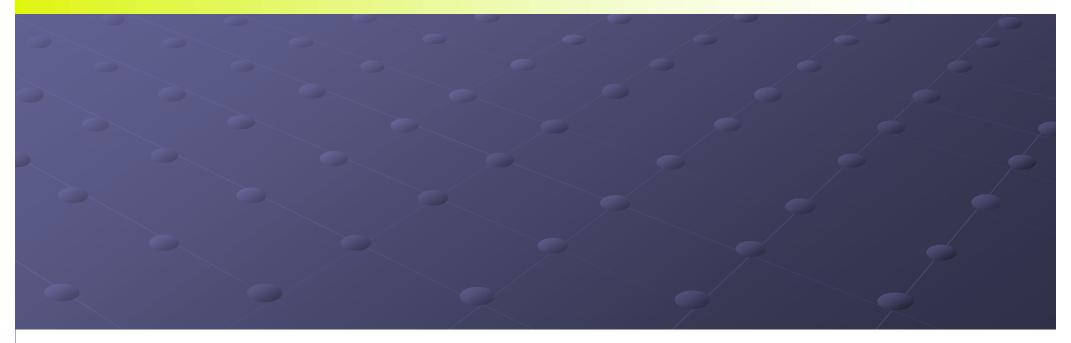


クロースアップ/大連長興島臨港工業区 エリア分布





最新トピックス





最新トピックス

国内事業

日本最大の炭酸ガス企業「日本液炭」誕生

海外事業

北米においてヘリウム生産(液化・精製)事業を開始



最新トピックス(国内)/日本最大の炭酸ガス事業会社誕生

国内販売量 第1位

(初年度事業規模) 売上高 約 320億円



3年後の売上高目標

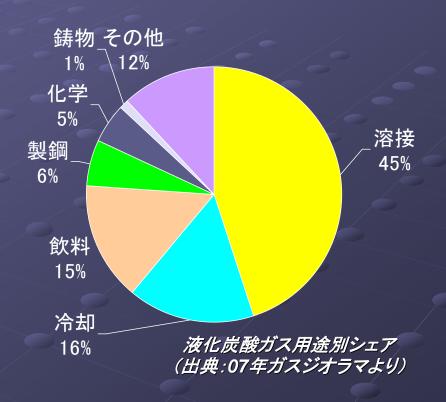
350億円

平成19年2月22日 液化炭酸㈱を存続会社とする、 日本液炭ホールディングス㈱、 液化炭酸㈱、日本炭酸㈱の 3社合併契約を締結

平成19年5月14日 大陽日酸㈱の炭酸ガス事業部門の 吸収分割契約を液化炭酸㈱と締結

平成19年10月1日 日本最大手の炭酸ガスメーカーとし てスタート

07年 炭酸ガス国内需要(予測)





最新トピックス(海外)/北米にてヘリウム生産(液化・精製)事業を開始

APCIと共同生産会社を設立

⇒ 2009年春よりヘリウム生産開始

年產能力約600万㎡



弊社引取量(約300万㎡)は、国内年間輸入量(06年度 約1600万㎡)の 約18.8%に相当



- 新設のヘリウムソースであるので安定的な生産が可能
- 数十年先まで枯渇する可能性がないため長期的な生産が可能
- 自らメーカーとなり管理・運営するため現場の状況を把握しやすい



状況により更なる生産増強が可能



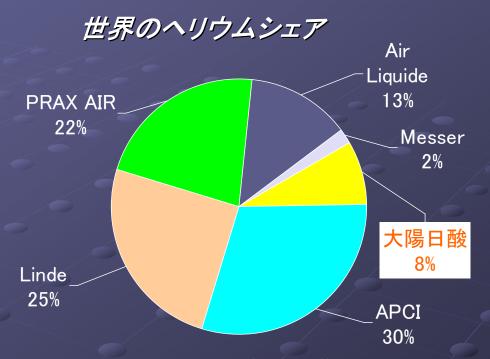
最新トピックス(海外)/北米にてヘリウム生産(液化・精製)事業を開始

09年より当社引取量300万㎡の 約4割(120万㎡/年)を日本向けに出荷



国内年間輸入量(1600万㎡)に対する 当社シェアは、09年度から 約33% ⇒ 約38%/こ向上 (シェアは当社推定)



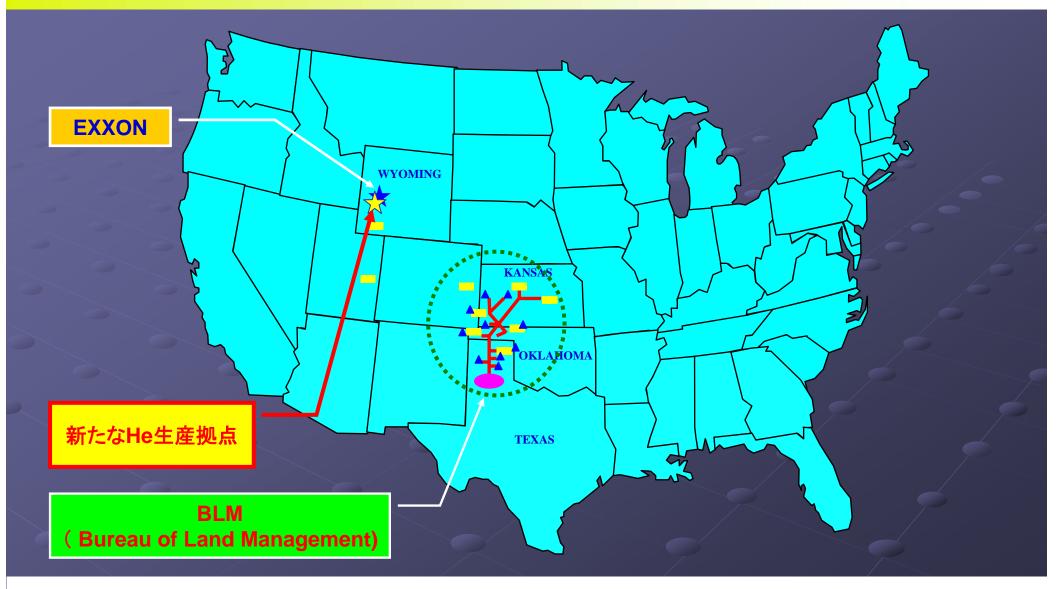


出典:日本経済新聞社推定

今後更に高まる需要に対し 安定的かつ長期的な供給体制を構築

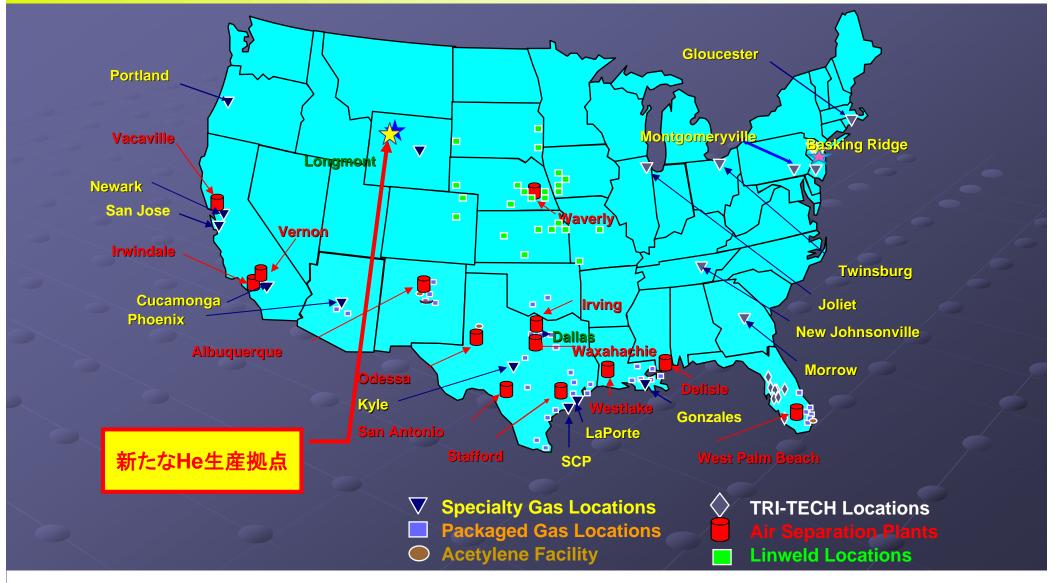


最新トピックス(海外)/北米の新たなヘリウム生産拠点



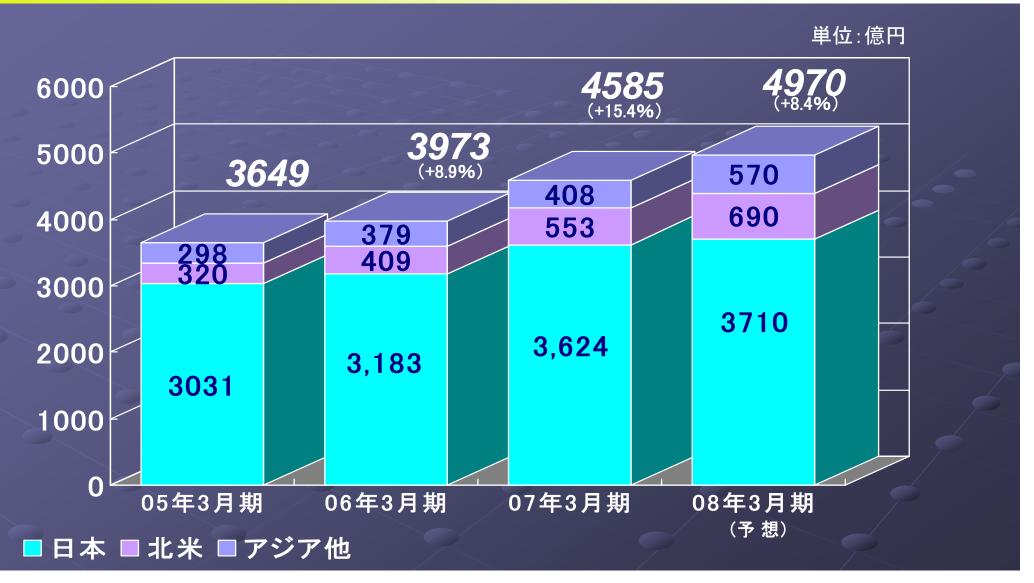


最新トピックス(海外)/北米事業のロケーション



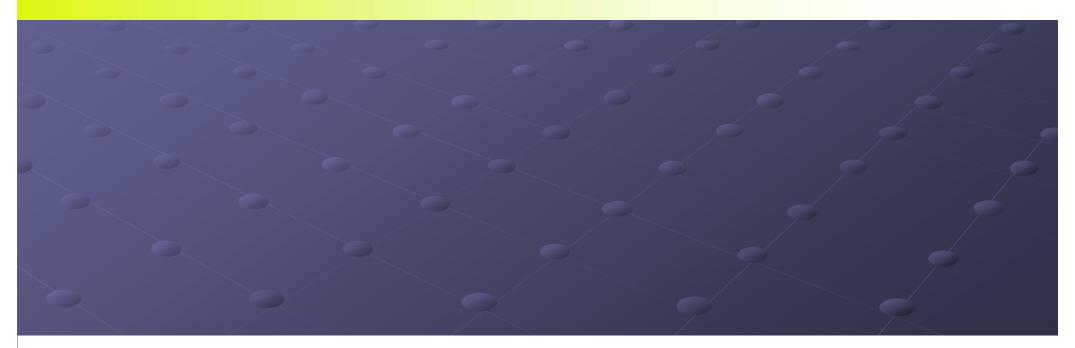


各地域における売上高の推移





2008年3月期 連結業績予想(通期)





2008年3月期 連結決算業績(通期予想)

					単位:百万円
	前期	当期 (前回予想)	当期 (今回予想)	前期比(増減比)	予想比 (増減比)
売上高	458,587	485,000	497,000	38,413 +8.4%	12,000 +2.5%
営業利益	36,488 8.0%	38,300 7.9%	39,600 * 8.0%	3,112 +8.5%	1,300 +3.4%
経常利益	37,067 8.1%	37,100 7.6%	39,200 7.9%	2,133 +5.8%	2,100 5.7%
当期純利益	20,094 4.4%	20,500 4.2%	21,800 4.4%	1,706 +8.5%	1,300 +6.3%

^{*}税制改正に伴う減価償却費増:17.1億円



2008年3月期 連結セグメント(通期予想)



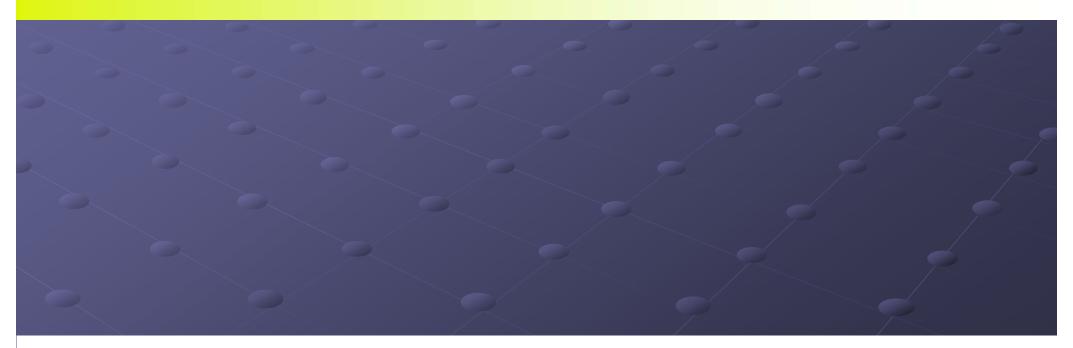


2008年3月期 連結セグメント(通期予想)





新たな中期経営計画





新たな中期経営計画

- ① 成長市場、成長産業に重点的に取組み、企業価値の更なる向上に努める
- ② 新たな事業領域の拡大と新たな需要の創出
- ③ グループ経営の効率化
- ④ 環境問題への取組み
- ⑤ 安全・保安、コンプライアンス対応の強化



注意事項

- ●本資料は、証券取引上のディスクロージャー資料ではなく、 その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- ●また、本説明会および本資料には将来に関する計画や戦略、 業績に関する予想や見通しが記述されておりますが、 これらは現時点で入手可能な情報により当社が判断、 想定したものであり、実際の業績は様々なリスクや不確実性(経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、 これらに限りません。)を含んでおります。
- ●このため、現時点での見込みとは異なる可能性がございますことを ご承知おきいただき、本資料のみに依拠して投資判断されますことは お控え下さいますようお願い致します。

